

留学先大学： グラーツ大学
 留学先での所属学部・研究科： Soziologie / Global Studies
 留学先での在籍身分： Exchange Student
 留学期間： 2014 年 10 月～ 2015 年 7 月
 神戸大学での所属学部・研究科： 人間発達環境学研究科
 学年（出発時）： M1
 本報告書記入日： 2014 年 11 月 25 日

出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

オーストリア大使館のホームページ
<http://www.bmeia.gv.at/jp/botschaft/tokio/ratgeber/ihre-reise-nach-oesterreich/rechts-und-konsularangelegenheiten/aufenthaltsbestimmungen.html>
 過去に行った先輩に話をいろいろ聞きました。

住居について

- ・住居のタイプ： 大学寮 アパート ホストファミリー その他（具体的に） _____
- 住居（寮，アパート）の名前： WIST Studentenheim
- ・部屋の種類： 一人部屋 二人部屋 その他（具体的に） キッチン、シャワー、トイレは共同
- ・ルームメイト： 現地学生 留学生（出身国： ボスニア・ヘルツェゴビナ） その他（具体的に） _____
- ・どのように探しましたか。： 大学の斡旋 自分で探した その他（具体的に） _____
- ・大学までの通学時間・手段： 30分、トラムとバス
- ・住居の周りの環境はどうか。：

とても静かで、スーパーも2軒あります。トラムの駅がとても近くにあり、住むにはとても良い環境だと思います。

- ・毎日の食事はどうしていますか。：

近くのスーパーで食材を買ってきて、自炊をしています。昼食は食堂で食べたり、大学そばにあるスーパーでサンドイッチを買ってきたりして食べています。

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐにみつかりましたか。トラブルはありませんでしたか。：

特にトラブルはありませんでした。寮も希望通りの所を見つけてもらいました。ただ早く応募した方が良いとは言われていましたので、早く申請すべきと思います。

大学の授業について

1. 履修登録について

- ・履修登録の時期： 出発前 到着後
- ・履修登録の方法： On-line International Office等の仲介 その他（具体的に） _____
- ・登録時に留学生として優先・配慮されることはありましたか。： 無し 有り
- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

- ・希望通りの授業が履修できましたか。： はい いいえ
- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

全ての授業がオンラインで先着順に履修登録をすることになります。普通の授業はまだ良いのですが、語学の授業は定員が決まっていることが多く、定員を超えてしまうとキャンセルが出るのを待って朝早くから申請に行くか、履修出来なかったりします。そのことを知らずにいくつか希望の授業が取れませんでした。早く行動することが肝心です。

2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習, 復習, テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	Österreichische Gesellschaft im internationalen Kontext	Haller M	1	3	48	Moodleにパワーポイントがアップされるので、印刷して分からない単語は調べます。
2	Englisch Mittelstufe 3, Gruppe B, Niveau B2/1. Phase	Waldhaus C	1	3	25	毎週宿題が出ます。また、英語のプレゼンテーションやテストを定期的に行います。
3	Deutsch Mittelstufe 1, Niveau B1/1. Phase	Seidl A, Simschitz B	1	3	16	定期的にドイツ語のテストがありますが、基本的に緩めな語学コースです。
4	Deutsch, Österreichische Landes- und Kulturkunde, ab Niveau B1	Turba H	1	3	20	ドイツ語でプレゼンテーションをします。宿題もたまに出ます。
5	Ringvorlesung Global Studies (tradition & traditionalismen)	Teibenbacher P	1	3	138	オムニバス形式の授業で、一度だけ日本人の先生が来ました。
6	Entwicklung und Globalisierung 2	Zimmermann F	1	3	262	Moodleにパワーポイントがアップされるので、印刷して分からない単語は調べます。
7						
8						
9						
10						

3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

クラスはまちまちで、1年生が取るような基本的なクラスは100人を超える大教室で受けています。現地学生はみんなまじめかと言われたらそうでもなく、携帯をいじっていたりする学生も何人かいます。が、寝ている学生は1人もいません。多分寝たら大変なことになります。寝るくらいなら休むのでしょうか。

一週間のスケジュール（授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。）

	月	火	水	木	金	土	日
8:00			起床			起床	
9:00	起床	起床	授業(1.5h)	起床	起床		
10:00		授業(1.5h)	タンデム 学習(1h)	タンデム 学習(2h)		タンデム 学習(3h)	起床
11:00	授業(1.5h)	昼食	昼食	昼食	勉強したり ギター 弾いたり		勉強したり ギター 弾いたり
12:00			授業(1.5h)		予習復習 したり…	昼食	
13:00		勉強	勉強したり 帰宅し たり	タンデム 学習(1h)			サッカー したり…
14:00	授業(1.5h)			授業(1.5h)			
15:00	勉強したり 帰宅し たり	サッカー (1.5h)					
16:00		帰宅					
17:00							
18:00							
19:00	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食
20:00							
21:00							
22:00							

現在までの感想 自由に記入してください。(800字～)

グラーツに到着して2カ月ほど経ちますが、やっと何とか生活に慣れてきたかなという感じですね。ここ8～9月が学会の準備をしたり、留学の準備をしたりとかなり忙しく、到着後もオリエンテーションやら何やらでなんとなく授業が始まって10月が過ぎたという感じです。9～10月はナーバスになることが多かったですが、最近やっと少し落ち着いてきました。

グラーツ大学ですが、留学生の数もとても多く、それをサポートする体制もかなり整っているという印象を受けます。特に最初のオリエンテーションは手厚く、Residence Permit申請についても書類を全て確認してくれ、足りないものは学校側から印刷してくれたりして全て揃えてくれました。

また、この町ですが、勉強するには最適の場所であるという印象を受けています。静かで、町全体が落ち着いています。娯楽も全く無く、旅行と勉強以外することが無いという印象です。観光名所もそれほどありません。とてもものんびりしています。

授業はドイツ語で教えられるものが多く、最初は全く何を言っているか分かりません。ただ講義が大半で、授業の資料はMoodleにアップされるものが多いので食らいつけば何とかできます。今は何を言っているか何となく分かる程度にはなってきているので、前期が終わるころには理解出来ているのではないかと思います。

また、今タンDEM学習を4人の人と行っているのですが、グラーツ大学では日本語を教える授業もあり、現地でも結構人気があるようです。そのため日本語を学びたがっている人は多く、タンDEMパートナーは比較的に見つけやすいです。日本に興味のある人が結構多く、その点でも馴染みやすいのではないのでしょうか。

旅行についてはドイツ、オーストリア国内、デンマークとそれぞれ3回行きましたがウィーンまで電車で3時間ほどで行け、そこからはヨーロッパ各地様々な所に夜行列車や高速列車が出ています。そしてウィーン空港はヨーロッパでも規模が大きく、各地に便が出ているので旅行もしやすい方だと思います。たまに息抜きに旅行はとても役立っています。

他の大学からも日本人は6人ほど来ており、よく情報交換をしています。また過去に日本に来たことのある留学生や、日本語を学んでいる人たちのFacebookコミュニティも存在しており、良くパーティーをしたりしています。彼らはみんな日本語をある程度喋れるので、グラーツに馴染むのに大きな助けとなってくれました。

全体的には、やっと腰を下ろしてやりたいことをいっぱい出来そうだな、という気分になってきています。